

番号 ばんごう	上の句 かみく	下の句 しもく	作者 さくしゃ
11	くさかりきとびいしだらけのあきくさよ 草刈機 飛び石だけの秋草よ	はるなつあきふゆかわりなし 春夏秋冬 変わりなし	農家 鉄の在庫が増えてきた奴
12	あきかぜになびくくさばなみてるじぶん 秋風に 靡く草花 見てる自分	いつみてもきれいそうつぶやく いつ見ても 綺麗 そう 呟く	雪下 にんじん
13	もみじのきおちるはたちのすきまより 紅葉の木 落ちる葉たちの隙間より	ひかるほしはゆうぐれしめす 光る星は 夕暮れ 示す	そら いろ ぱれ っと
14	つうがくろ いろどるあきのふうぶつし 通学路 彩る秋の 風物詩	みんなでたべるこがねのぎんなん みんなで 食べる 黄金の 銀杏	きら ぴ
15	うつくしきあかもみじちりわがこいも 美しき 赤紅葉 散り 我が恋も	おちばとなつてほほつたるなみだ 落ち葉 となつて 頬つたる 涙	猫
16	あきぞらにはえるまっかなはなばたけ 秋空に 映える 真っかな 花畑	ゆうやけもまけるどうどうさ 夕焼けも 負ける 堂々さ	めいりようた
17	あきのよはもみじまいちりきんしゅうの 秋の夜は 紅葉舞い 散り 錦秋の	しずけさのなかくれないのよる 静けさの 中 紅の 夜	あおい
18	まどみればいんくをおとすかんろのひ 窓見れば インクを 落とす 寒露の 日	なつかしがりてはじまるいちにち 懐かしがりて 始まる 一日	ゆきばしら
19	ふゆのあさまだまだまっくらよなかな 冬のあさ まだまだ まっくら よ かな	だけどとけいはおきるじかん だけど 時計は おきる 時間	なお
20	ちよこれーとじぶんでつくるたっせいかん チョコレート 自分で 作る 達成感	うけとられるかふあんなきもち 受け取られるか ふあんなきもち	くりる